

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		キッズベースシーズ		公表日		2026年 3月23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		必要に応じてキッズベース児童発達、放課後 デイ等で利用している支援ツールを共有しま す。	発達段階に応じた教員教材を抵抗していき たいと思います。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		ミーティング等でお子さんの様子の確認と振 り返しをおこないます。また定期的に職員か ら意見を吸い上げ支援の質の向上や、業務改 善に取り組んでいます。	今後、他事業所等との連携もおこない、他事 業所のベストプラクティスを取り入れられる ようにしていきたいと思います。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		現在利用されているお子さんがいないため意 向を把握する機会はありませんが、保護者向け 評価をおこない業務改善につなげていくよう にします。	保護者アンケートや面談などを通じて、保護 者の方々有意向を把握する機会を設けていき たいと思います。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		ミーティング等を通じて、定期的に職員から 意見を吸い上げ支援の質の向上や業務改善に 取り組んでいます。	今以上に改善に関する打ち合わせの頻度をあ げ、PDCAサイクルのスピードアップを図っ ていきたいと思っています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○		法人内で毎月実施している企画会議におい て、他事業所の管理者と意見交換を行っ たり、助言をもらったりするなかで、業務改善 に取り入れています。大学教授からアドバイ スをいただいています。	第三者評価の自己評価に取り組むなど、外部 評価受診の準備を進めていきたいと思いま す。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		参加可能な研修等に参加するようにしていま す。また、発達障がいアドバイザーとして関 わっていただいている大学の先生による勉強 会も定期的に実施しています。公認心理士の 大学の先生や理学療法士の方にもアドバイ スをいただいています。	職場内研修は継続して実施しており、今後は さらに視野を広げるため、外部研修への参加 機会も積極的に確保していきたいと考えていま す。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		お子さんの様子の把握、訪問先支援者からの 情報収集、保護者への情報提供を積極的にお こないます。	個々のお子さんのニーズを検討したうえでお 子さんや保護者に寄り添った支援計画を作成 していきたいと思っています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成において職員と「個別支援 計画会議」を実施し共通理解を図り、支援の 際にも活かすことができるよう心がけます。	訪問後等に定期的に計画を振り返ることで、 共通理解を深めお子さんへの支援の改善をお こなっていききたいと思っています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		現在利用されているお子さんがいないため訪 問先施設等の連携はできていませんが、訪問 する際は訪問先施設や担任の先生の意向を盛 り込み作成します。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		お子さん1人ひとりの日々の記録用紙内に個別 支援計画の内容を記載し、確認しながら対応 できるようにします。	職員間で共通理解して支援ができるよう伝え 方、話し合いの方法を工夫します	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者や相談員、訪問先施設の先生等から頂 いた情報等から状況を把握し、標準化された ツールを用いたアセスメントをするように努 めます	アセスメントツールについて定期的に項目の 見直しなどをしていきたいと思っています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		保育所等訪問支援ガイドラインの内容をよく 把握し、支援内容を具体的に設定するよう にします。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		お子さん1人ひとりの日々の記録用紙内に個別 支援計画の内容を記載し、確認しながら対応 できるようにします。	職員間で共通理解して支援ができるよう伝え 方、話し合いの方法を工夫します。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		訪問前に、お子さんの様子確認でのポイント 等を確認しあって支援をおこなうようにしま す。	支援内容や役割分担の確認、情報の共有を徹 底しよりよい支援につなげていけるようにしま す。		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問後は、気づいた点や訪問先の先生の話等を共有しあい、今後の支援につなげていけるようにします。	全員に共有できない部分はノート等を活用し、全体に共有できるようにしていきます
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		現在、訪問先がない状況ではありますが訪問する際は理念や支援手法の確認をおこなったうえで支援を実施するようにします。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		訪問後に記録をおこないます。記録用紙内には個別支援計画の内容を記載し、計画に沿った支援が実施できているか確認できるようにし、支援の検証・改善等につなげていくようにします。	支援の検証・改善の方法を工夫しながらおこなっていききたいと思います。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングは定期的実施し、お子さんの状況や保護者の意向を踏まえて計画の見直しや作成をおこないます。	半年に1回ではなくこまめに職員間で見直しをおこなっていく工夫を考えていきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議がある場合は児童発達支援管理責任者が参画します。また事前に職員からお子さんの様子を聞いたうえで参画します。	密に連携をおこない、情報共有をおこなっていききたいと思います。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			訪問先の他、様々な関係機関と連携を図っていけるよう心掛けていきたいと思います。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現在、対象のお子さんはいらっしゃいませんが就学時の移行の際は保護者の要望も伺いながら学校等との情報共有をおこなっていきます。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		リモート研修や会場での研修など参加可能な研修等に積極的に参加するようにしています。また、発達障がいアドバイザーとして関わっていただいている大学の先生による勉強会も定期的実施しています。	今後はパート職員にも希望を聞きながら、外部での研修を受けることができる環境を提供することで、事業所全体の質の向上につなげることができるように情報共有をおこなっていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		現在、参加はしておりませんが要請いただいた場合は積極的に参加します。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問後に電話や公式LINE等にてその日のお子さんの訪問先での様子や訪問先の先生とのやりとり等の報告をおこないます。	お子さんの発達状況や課題について気軽にご相談していただけるよう、保護者との関わりも密におこなっていききたいと思います。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者に療育内容や訪問先での先生との話等をお伝えする際に、家庭でも取り組んでいた内容があれば協力いただくようお願いいたします。また関わり方についてアドバイスをしたり、適宜相談を受けさせていただきます。	保護者の方をお招きし、研修の機会を設けたり、発達障がい支援センター等で行われているペアレントトレーニング等も積極的に情報提供していききたいと思います。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に資料や実際のツール等をご覧いただきながら説明をおこないます。また不明な点は職員が随時説明します。	丁寧な説明を心掛けていけるよう工夫していききたいと思います。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		資料や実際のツール等をご覧いただきながら説明をおこないます。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約の際の面談などで意向についてお話を聞き、サービス等利用計画を基に作成します。保護者とこまめに連絡をとらせてもらい意向を確認しながらすすめます。	丁寧に聴き取りをおこない、お子さん、保護者、訪問先の意向を踏まえてよりよい計画を作成していけるようにします。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		面談をおこない、書面に計画の説明をおこない保護者の同意を得ます。	丁寧な説明を心掛けていけるよう工夫していききたいと思います。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		子育ての悩み等の相談に対し、訪問後の連絡等の際に適宜共感し助言をおこなったり、定期的な面談や要望のあった際に適宜面談をおこないます。その際、キッズスペースでおこなっている支援を口頭でお伝えしたり実際に使っているツール等も見させていただきます。	発達についての知識をより深めていき、よりよい助言をおこなっていけるようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		現在は保育所等訪問ご利用のお子さんはいらっしゃいませんが、別事業のほうで今年度、保護者交流会を実施しました。	定期的実施できるようにしました、きょうだい同士で交流する機会も設けていけるようにしていきたいと思っています。

	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めます。重要事項説明書に第三者窓口について記載しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月発行しているお便りや、ホームページのブログ、Instagram、Facebook等で活動概要等を発信しています。また、一斉配信メール、公式LINE等連絡体制を複数設けています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		利用契約時に個人情報の取り扱いについて説明し「個人情報取り扱い同意書」にサインをいただきます。	丁寧な対応に努めていきたいと思っています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		事務連絡や案内等はできるだけ口頭だけではなく書面や公式LINEを用いて周知、理解しやすいようにします。	丁寧な対応に努めていきたいと思っています。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		現在利用のお子さんがいないため必要な助言や支援等はおこなえていませんが、訪問先から相談があった際は迅速に対応できる体制を整えてたいと思っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		現在利用のお子さんがいないため訪問後のカンファレンス等はおこなえていませんが、訪問先とも相談し合いながらカンファレンスの時間を設けていきます。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後、電話や公式LINE等で支援内容の共有をおこないます。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		利用契約時に個人情報の取り扱いについて説明し「個人情報取り扱い同意書」にサインをいただきます。	丁寧な対応に努めていきたいと思っています。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		現在利用のお子さんがいないため専門的な助言はおこなえていませんが、こまめな連絡等をおこなって信頼関係を築きながら助言をおこなっていききたいと思っています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、職員間で周知しています。警報発令時や感染症対応についてのお知らせは契約時に配布し、説明させていただきます。	定期的に再周知をおこなうようにしたいと思います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	安全計画を適切に活用するために職員間での話し合いを定期的におこなっています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険だと感じる事があった際など、ヒヤリハット案件が出た場合は、打ち合わせ等で話し合い、小さなことでもすぐに共有できるようにしています。	これまで口頭での共有が中心でしたが、今後は書類への記入もより丁寧に行い、情報共有をより確実にしていきます。また記入して終わるのではなく、再発防止に向けた前向きな話し合いの機会を積極的に設けていきたいと思っています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		アドバイザーとして関わっていただいている大学教授に研修をしていただいたり、外部研修等にも参加し、適切な対応をこころがけています。	今後も研修や事業所内での話し合い等を重ね、よりよい対応をおこなっていただけるようにします。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現段階で身体拘束はおこなっていません。指針のほうで明記しています。	やむを得ず身体拘束を行う場合が考えられる際は計画書に記載し、お子さんや保護者に事前に十分説明し、了解を得るようにします。